

花オリジナル品種が人気

花屋の経験、育種に活かす

吉川市川上さん夫妻

【埼玉】吉川市の川上
竜一さん(37)と妻の由



香里さん(34)は、「花日和」のブランドでペチュニアやパンジー、ピオラなど50種類以上の花を生産している。

竜一さんは農業
大学を卒業後、
花屋勤務の経験
を経て2013年
に就農。花の生産に

花のオリジナル品
種を生産する川上
竜一さん(右)と
妻の由香里さん

加え、8年前から育種にも取り組み始めた。夫妻がこれまで作り出したオリジナル品種は30種類以上。優しく繊細なイメージを心がけ、今流行のニユアンスカラーを多く取り入れた。アンティーク調の淡い色合いは人気が高い。

花の育種は交配し、花が咲いて初めて色合いがわかる。竜一さんは、「理想の色合いを出せたときは本当にうれしい」と話す。多くの交配のうち、理想の色合いを生み出せるのはほんの一握りで、根気のいる作業だ。

中には何年もかけて生み出された品種もある。

「どうすれば、もっと花を楽しんでもらえるか。花の魅力をどう伝えるか」を常に考えている川上さん夫妻。オリジナル品種のネーミングやラベルデザインでもセンスが光る。また、SNS上で栽培の様子や品種の特長なども分かりやすく紹介している。

「花業界はまだまだ伸びしろがある。花農家や販売者が一体となって、より多くの人に花を届けたい」と川上さん夫妻は思いを語る。